

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 30日

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

提出者

住 所 大分市中島西3丁目5番1号

氏 名 株式会社 佐伯建設

代表取締役社長 川崎栄一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-536-1530

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 佐伯建設
事業場の所在地	大分市中島西3丁目5番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	150億
③従業員数	200人
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙添付



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	0.000t	0.000t	2.040t	520.340t	105.100t
	（これまでに実施した取組） 燃え殻(なし) 建設汚泥(脱水) 廃油(なし) 廃プラスチック(分別資源化) 紙くず(梱包材・余剰材の削減)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	燃え殻	建設汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず
	排出量	0.000t	0.000t	2.000t	494.000t	100.000t
	（今後実施する予定の取組） 燃え殻(なし) 建設汚泥(脱水) 廃油(なし) 廃プラスチック(分別資源化) 紙くず(梱包材・余剰材の削減)					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず
	排出量	335.069	6.083	0.000	449.127	246.140
	（これまでに実施した取組） 木くず（梱包材・余剰材の削減、分別資源化） 繊維くず（分別再資源化） ゴムくず（なし） 金属くず（分別再資源化） ガラス陶磁器くず（分別資源化）					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず
	排出量	318.000t	6.000t	0.000t	427.000t	234.000t
	（今後実施する予定の取組） 木くず（梱包材・余剰材の削減、分別資源化） 繊維くず（分別再資源化） ゴムくず（なし） 金属くず（分別再資源化） ガラス陶磁器くず（分別資源化）					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ALC	鉦さい	その他がれき類	コンクリートがら
	排 出 量	359.990t	0.000t	0.000t	184.585t	3732.248t
	（これまでに実施した取組） 石膏ボード（余剰材の削減） ALC（分別資源化） 鉦さいを含む工事を受注しないようにする（減量化） その他のがれき類（分別資源化） コンクリートガラ（分別解体、建設資材として再利用）					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	ALC	鉦さい	その他がれき類	コンクリートがら
	排 出 量	342.000t	0.000t	0.000t	175.000t	3546.000t
	（今後実施する予定の取組） 石膏ボード（余剰材の削減） ALC（分別資源化） 鉦さいを含む工事を受注しないようにする（減量化） その他のがれき類（分別資源化） コンクリートガラ（分別解体、建設資材として再利用）					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）					

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

--

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アスコンガラ	ばいじん	混合廃棄物(安定型)	混合廃棄物(管理型)	石綿含有(ガラス陶磁器くず)
	排 出 量	251.047t	0.000t	0.000t	863.400t	35.020t
	(これまでに実施した取組) アスコンガラ(余剰材を抑制、路盤材として再利用) ばいじん(なし) 混合(安定型)(なし) 混合廃棄物(管理型)(なし) 石綿含有(ガラス陶磁器くず)(なし)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスコンガラ	ばいじん	混合廃棄物(安定型)	混合廃棄物(管理型)	石綿含有(ガラス陶磁器くず)
	排 出 量	238.000t	0.000t	0.000t	820.000t	33.000t
	(今後実施する予定の取組) アスコンガラ(余剰材を抑制、路盤材として再利用) ばいじん(なし) 混合(安定型)(なし) 混合廃棄物(管理型)(なし) 石綿含有(ガラス陶磁器くず)(なし)					

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

--	--	--	--	--	--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	石綿含有(石膏ボード)	石綿含有(廃プラ)	石綿含有(がれき類)	石綿含有(紙くず)	石綿含有(木くず)
	排出量	2.000t	1.200t	3.000t	0.000t	0.000t
(これまでに実施した取組) 石綿含有物のある解体工事は受注しないようにする(減量化)						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	石綿含有(石膏ボード)	石綿含有(廃プラ)	石綿含有(がれき類)	石綿含有(紙くず)	石綿含有(木くず)
	排出量	2.000t	1.140t	2.850t	0.000t	0.000t
(今後実施する予定の取組) 石綿含有物のある解体工事は受注しないようにする(減量化)						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

--

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有(繊維くず)	蛍光灯	廃電池類	PCB
	排 出 量	0.000t	0.354t	0.000t	0.000t
	(これまでに実施した取組) 石綿含有物のある解体工事は受注しないようにする(減量化) 蛍光灯を含む工事を受注しないようにする(減量化) 廃電池類(なし) PCB(なし)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有(繊維くず)	蛍光灯	廃電池類	PCB
	排 出 量	0.000t	0.340t	0.000t	0.000t
	(今後実施する予定の取組) 石綿含有物のある解体工事は受注しないようにする(減量化) 蛍光灯を含む工事を受注しないようにする(減量化) 廃電池類(なし) PCB(なし)				

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)						



(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

上段:実績値 下段:目標値	排出量	自ら 再生利用 を行う量	自ら 熱回収を 行う量	自ら 中間処理により 減量する量	自ら 埋立処分又 は 海洋投棄処 分 を行う量	全処理 委託量	優良認定 処理業者 への委託 量	再生利用 業者への 委託量	認定熱回収 業者への 委託量	認定熱回収 業者以外の 熱回収を行う 業者への 委託量
燃え殻	0.000					0.000				
建設汚泥	0.000					0.000		0.000		
廃油	0.000					0.000		0.000		
	2.040					2.040		2.040		
	2.000					2.000		2.000		
廃プラスチック類	520.340					520.340		520.340		
	494.000					494.000		494.000		
紙くず	105.100					105.100		105.100		
	100.000					100.000		100.000		
木くず	335.069					335.069		335.069		
	318.000					318.000		318.000		
繊維くず	6.083					6.083		6.083		
	6.000					6.000		6.000		
ゴムくず	0.000					0.000				
	0.000					0.000				
金属くず	449.127					449.127		449.127		
	427.000					427.000		427.000		
ガラス陶磁器くず	246.140					246.140		246.140		
	234.000					234.000		234.000		
石膏ボード	359.990					359.990				
	342.000					342.000				
ALC	0.000					0.000		0.000		
	0.000					0.000		0.000		
鋳さい	0.000					0.000				
その他がれき類	184.585					184.585		184.585		
	175.000					175.000		175.000		
コンクリートがら	3732.248					3732.248		3732.248		
	3546.000					3546.000		3546.000		
アスコンがら	251.047					251.047		251.047		
	238.000					238.000		238.000		
ばいじん	0.000					0.000				
	0.000					0.000				
混合廃棄物(安定型)	0.000					0.000		0.000		
	0.000					0.000		0.000		
混合廃棄物(管理型)	863.400					863.400				
	820.000					820.000				
石綿含有(ガラス陶磁器くず)	35.020					35.020				
	33.000					33.000				

上段:実績値 下段:目標値	排出量	自ら 再生利用 を行う量	自ら 熱回収を 行う量	自ら 中間処理により 減量する量	自ら 埋立処分又 は 海洋投棄処 分 を行う量	全処理 委託量	優良認定 処理業者 への委託 量	再生利用 業者への 委託量	認定熱回収 業者への 委託量	認定熱回収 業者以外の 熱回収を行う 業者への 委託量
石綿含有(石膏ボード)	2.000 2.000					2.000 2.000				
石綿含有(廃プラ)	1.200 1.140					1.200 1.140				
石綿含有(がれき類)	3.000 2.850					3.000 2.850				
石綿含有(紙くず)	0.000 0.000					0.000 0.000				
石綿含有(木くず)	0.000 0.000					0.000 0.000				
石綿含有(繊維くず)	0.000 0.000					0.000 0.000				
蛍光灯	0.354 0.340					0.354 0.340				
廃電池類	0.000 0.000					0.000 0.000				
PCB	0.000 0.000					0.000 0.000				

#### ④産業廃棄物の一連の工程処理

・コンクリートがら	中間処理に委託	→	再生砕石として再資源化
・アスコンがら	中間処理に委託	→	再生砕石として再資源化
・ガラス・陶磁器くず	中間処理に委託	→	再生路盤材として再資源化
・廃プラスチック	中間処理に委託	→	焼却・熱回収
・金属くず	中間処理に委託	→	再利用
・木くず	中間処理に委託	→	再生ボードの原料として再利用 焼却・熱回収
・紙くず	中間処理に委託	→	再生紙として再利用・焼却・熱回収
・繊維くず	中間処理に委託	→	ウェスとして再利用・焼却・熱回収
・廃石膏ボード類	中間処理に委託	→	管理型埋め立て
・混合(管理型)	中間処理に委託	→	選別・処分
・廃石綿類	中間処理に委託	→	埋め立て